

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成31年1月29日(火) 午後6時00分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 報告
日程第4 議案第1号 宇治市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱を制定するについて

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

教 育 長	岸 本 文 子
教育長職務代理者	加 賀 爪 毅
委 員	金 丸 公 一
委 員	中 筋 斉 子
委 員	小 山 栄 子

(出席職員職氏名)

部 長	伊 賀 和 彦	副 部 長	山 本 美 絵
<small>参事(生涯学習課長兼生涯学習センター所長)</small>	藤 原 千 鶴	教育支援センター長	市 橋 公 也
教育総務課長	栗 田 益 典	学校教育課長	吉 田 秀 平
教育総務課副課長	吉 川 貴 之		

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	加 藤 冬 子	教育総務課主任	前 田 圭 祐
-------------	---------	---------	---------

開 会 (午後6時00分)

開会宣言 教育長が1月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、中筋委員を指名する。

日程第2 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 報告

- (1) 平成30年12月市議会定例会について
- (2) 文教福祉常任委員会について(平成30年12月18日)
- (3) 第26回市民まなびの集い「宇治まなびんぐ2019」の開催について
- (4) 公民館の今後のあり方について
- (5) 議会会派要望について
- (6) 宇治市教育委員会後援事業について

以上6件を報告する。

[説明]

(1) 平成30年12月市議会定例会について

[一般質問] 12月11日・12日・13日・14日 質問議員・・・17名
(うち教育委員会関係8名)

鳥居 進 議員

○スポーツ振興について

- ・市のスポーツに対する考え方について
- ・スポーツ協会について

○教育課題について

- ・プログラミング教育について
- ・学校図書館司書について

池田 輝彦 議員

○教育課題について

- ・いじめ対策について
- ・通学時の重いカバンについて

坂本 優子 議員

○中宇治地域の公共施設について

- ・宇治公民館・市民会館の今後の方針について

渡辺 俊三 議員

○教職員の長時間勤務解消について

- ・宇治市の教職員の長時間勤務実態について
- ・教員の授業持ち時間の削減について

○35人超学級の解消について

- ・35人を超える学級の実態について
- ・市費による教職員確保・増員について

○教材費の保護者負担の軽減について

- ・学校備品・消耗品の保護者負担の解消について
- ・保護者負担は個人持ち教材に限るマニュアルの作成について
- ・保護者負担解消の学校教材費の増額について

岡本 美里 議員

○小中学校のあり方について

- ・小中一貫教育について
- ・分散進学の実状と課題
- ・統廃合について

○教職員の働き方改革について

- ・学校現場の実状と課題

○中学校給食について

- ・検討委員会での議論について
- ・給食実施に向けて

山崎 匡 議員

○働き方について

- ・非常勤職員の処遇改善について

真田 敦史 議員

○子育て支援・教育について

- ・これからの教育について

宮本 繁夫 議員

○学校トイレ改修と近鉄小倉駅周辺整備について

(2) 文教福祉常任委員会について(平成30年12月18日)

請願第30-10号 誰もが安心して子どもを産み・育てられるよう宇治市の保育

の充実を求める請願

宮本委員から、障害のある子どもが、小学校に入学した時の支援体制について質問を受けた。これについて、就学前の就学指導委員会では、基本的にマンツーマンの対応をしなければならない子どもに対し、支援学校や公立学校の支援学級への入学・入級を勧め、入学後に学校が当初考えていた以上の状況が生じた場合は、管理職を含めフォローやカバーに回り、市教委として手立てできる分について人的措置・配置をしていると答えた。

報告第34号 宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について

服部委員から、スクールサイエンスサポート事業についてどのように行っているのかと質問を受け、京都大学の宇治キャンパスに行き防災に関する講座、逆に、京都大学の先生が出前講座を実施していると答えた。それについて、今後どのように展開していくのかとの質問になり、児童・生徒の科学に対する興味関心を高めることに効果的であるため、学力向上に繋げていきたいと答えた。

大河委員から、公立幼稚園について3年保育や預かり保育を評価していく仕組みの必要性などの質問を受けた。これについて、預かり保育は試行実施しているが、3年保育は今年4月から東宇治幼稚園で試行実施するため、今後の状況を踏まえ検討しながらいい評価になるようにしていきたいと答えた。その他に、菟道ふれあいセンターの耐震不足問題による、不登校の児童生徒の自立支援教室についての質問を受け、青少年指導センターと生涯学習センターと半々で過ごしているが、今後の使い方については検討していくと答えた。

宮本委員から、報告書の体裁についての質問を受けた。今回、報告書については提出しているが、非常に字が小さく内容が多いため分かりにくく、進捗状況の報告についても報告書と同様分かりにくいと、来年度は報告書のあり方について検討していくと答えた。これに関連して、浅井委員から、議会に概要版を出すなどの対応をとる意見をいただいた。

(3) 第26回市民まなびの集い「宇治まなびんぐ2019」の開催について

「まなびんぐ」については、生涯学習に取り組んでいる人々の日常活動の発表と交流及び、これから何かを始めたい人のきっかけづくりの場を提供することを目的とし、実行委員会の企画・運営で、例年2月に2日間実施している。今年度は平成31年2月16日(土)と17日(日)に実施する。

今年の特徴は、大学生の出展が2団体2コーナーあり、佛教大学よさこいサークル紫踊屋は鳴子作りとよさこい踊り体験、大谷大学教育・心理学科は紙皿と割り箸のおもちゃ作りのコーナーを出展する。

また、市民グループは木版画すり体験、民話の紙芝居、食育をテーマにした出展など、全体で46コーナー、41団体・個人が出展し、ワークショップ形式で市民に体験活動等を提供し、交流を図る。初出展者は2団体で、出展者の内、人材バンク登録者は、8団体・個人となっている。

両日、オープニングイベントは9時45分から始まり、午後3時まで開催している。

(4) 公民館の今後のあり方について

1月25日に開催した生涯学習審議会の「今後の公民館のあり方について(案)」の審議内容について報告する。

11月の審議会で「答申の中に宇治らしさを出したい」「審議会が考えていることをどう表現するか」との意見があったため、宇治市教育振興基本計画の趣旨を生かし、基本理念や目指す人間像と合致するように文言を加え、各委員から意見をいただいた上で審議を重ねた。その結果『まとめ』の一部分に、今後の本市における生涯学習のビジョンについて示す文言を加筆修正し赤字で示した。

委員長からは社会教育と生涯学習のことばについて触れ、「社会教育ではなく学習者の立場から生涯学習を全面に出し、この答申を作り上げた」と述べられた。これについて、委員からは特段の意見はなく、この案をもって答申とすることで承認をいただいた。

今後は、2月6日に委員長から教育長に答申を出していただく予定となっている。

[質 疑]

[委 員] 「今後の公民館のあり方について(案)」のまとめで、他の施設との複合化や民間施設等の資源を有効活用すること等も検討すべきであると考え、それに併せて生涯学習の場の数を減らさないと記載されているが、この答申には、閉館している宇治公民館は含まれるのか。

[事務局] 10月、11月の審議会で、宇治公民館の閉館に関する意見・質問があり、まとめの一部分に「加えて、宇治公民館の閉館に伴い、活動場所や内容を変更して活動を継続している団体等もあることから、生涯学習を推進する上で、活動の場や地域性について十分に配慮する必要がある」と固有名詞を記載し、宇治公民館についてまとめている。

[委 員] 先程の委員の質問は、宇治公民館そのものを残す・残さないというよりも、生涯学習に活用できる施設は、公民館だけではなく他の施設でも考えられるのではとの意見を述べている。

統廃合等により施設が減少しても、生涯学習の活動は、将来に向けて、他の施設を利用し活動の場を減少させないとの主旨がここに記載されているという解釈でいいのか。

[事務局] 公民館に留まらず、生涯学習の場を有効活用すべきとの意見があり、施設の複合化や民間施設等の資源を有効活用するとの記載となっている。また、宇治公民館について何か言葉に残しておかなければならないと考え、固有名詞を記載した。

[委員] では、この答申を踏まえ市や教育委員会として、宇治公民館のあり方を考えていくのか。

[事務局] もともと「公民館の今後のあり方について」の審議であり、宇治公民館以外の公民館も含めて、公民館全体をどうするのか考えるのと同時に、閉館している宇治公民館について今後どういう形に持っていくのか、教育委員会は方針を立てなければならないと思っている。

(5) 議会会派要望について

公明党宇治市会議員団、うじ未来、日本共産党宇治市会議員団より要望書の提出があった。

(6) 宇治市教育委員会後援事業について

北宇治高校OB吹奏楽団主催の北宇治高校OB吹奏楽団第3回ファンコンサートほか11件、計12件の事業について後援した。

日程第4 議案第1号 宇治市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱を制定するについて

[説明] 本議案は、文言の修正及び様式の変更にかかる所要の改正を行うものである。

改正内容は、「準要保護児童・生徒」の文言を「児童若しくは生徒」に改め、併せて別記様式の性別欄の削除等、様式の変更を行うものである。

[質疑] なし

[討論] なし

[採決] 採決の結果、全会一致で可決する。

閉会宣言 教育長が1月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時40分)

